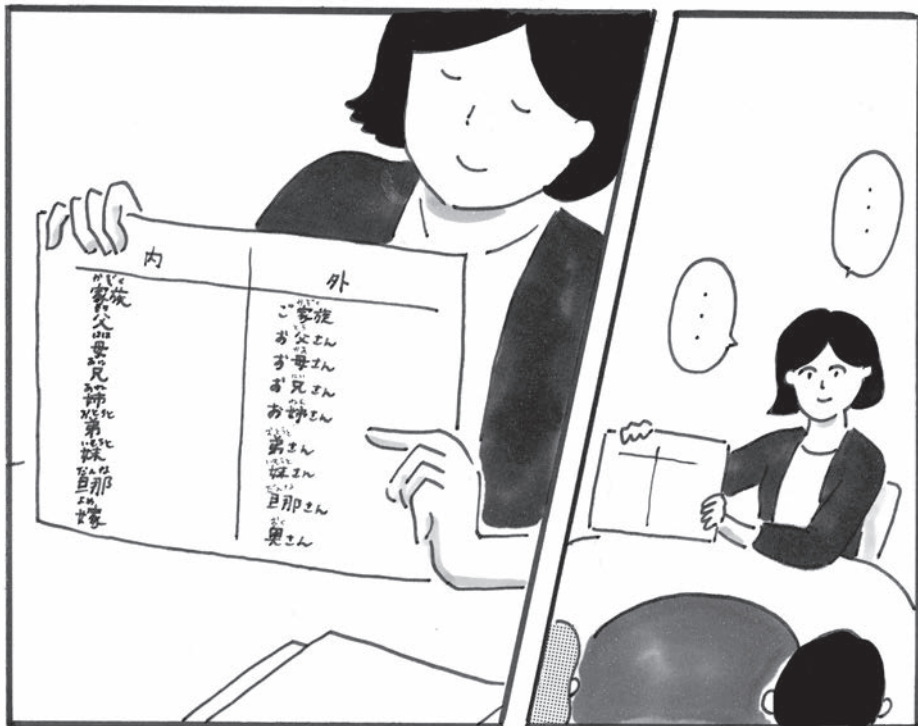
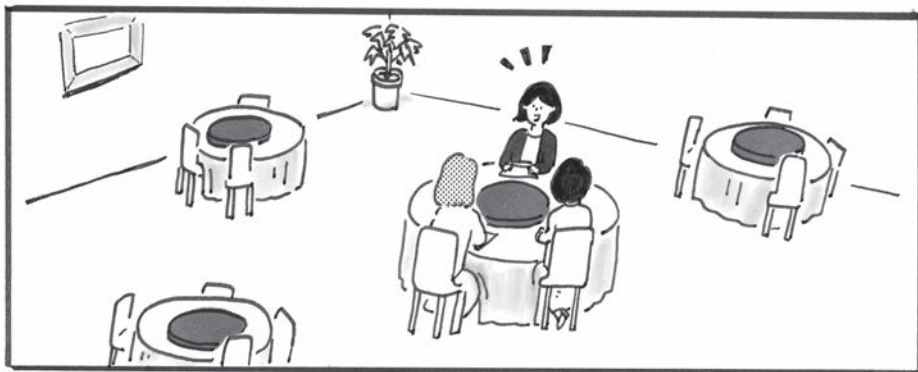


第 4 話

日本に嫁いできました





さつき勉強した  
言葉を使ってください

今日は家族のことを  
話します。話す前に、  
家系図を書いてください







孫も  
いるんですね



いっぱい  
書かなければ  
いけないの

孫もいるんで

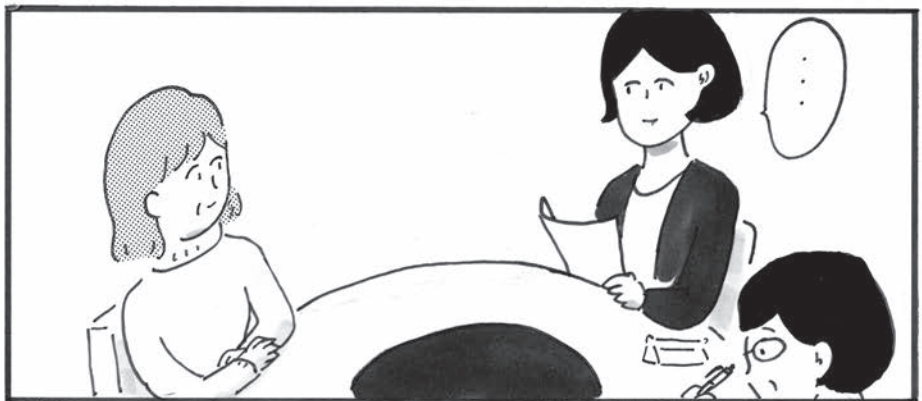


あの、

先生



ご家族は？って  
聞かれたら、  
普通は、日本に  
いる家族のことを  
答えたらいいい  
ですよ







## 第④話 日本に嫁いできました

**タスク1** 活動用の家系図を早く書き終えた学習者は、家族について実際に聞かれたときのエピソードを話しました。このエピソードを通して、教師に何を伝えたいのだと思いますか。できるだけ多くの可能性を考えてみてください。

**タスク2** このエピソードに対して、教師はどのような受け止め方ができるでしょうか。できるだけ多くの可能性を考えてみてください。

**タスク3** あなたは、学習者の体験談を聞いたことがありますか？どんなエピソードでしたか？その時、どのように受け止めましたか？

## 第④話 話について

日常生活では、私たちは自分に起きた出来事や経験を誰かに話すことがよくあります。しかし、誰にでも話すことができるわけではなく、相手との関係性を考慮しつつ話の内容を調整しています。このお話では、授業中に学習者が家族について聞かれたときの出来事を教師に向かって再現しています。授業内容に関連したものである一方で、学習者が自身のプライバシーをさらけ出すものでもあります。こうしたものを学習者が必死に私たちに伝えてきたとき、それをどのように受け止めたらよいかについて、考えてみましょう。

### 1 学習者は何を伝えたいか

- 困った経験を教師と分かち合う
  - 家族が少ないという事情を踏まえて、家族を聞かれたいときの対策に関する教師のアドバイスがほしい
  - 家族とは何かという疑問を、教師にぶつける
  - 授業内容を実際の生活に結びつけ、学習への積極性を示す
- 他にも可能性がありますが、学習者側の立場から想像してみることが大切です。

### 2 教師はどのように受け止めるか

- ① 似たような体験を持ち出し、共感・同感を示す
- ② 学習者の個人の事情を踏まえて、対策を一緒に考える
- ③ 家族の定義について「日本」と「学習者の国」の違いを話題にする
- ④ 学習者の語りの中から上手く言えなかった言い回しや、適切ではなかった表現を取り上げて、日本語の学習につなげる

教師の受け止め方はどの対応が正しいかというような話ではありませんが、それぞれの対応において①生活の一部を共有する者、②生活を支援する者、③文化交流において日本を代表する者、④日本語学習の支援をする者というように、さまざまな立場が示されています。これらの立場を複合的に用いることもできます。ここでは、どういった立場で学習者の語りを受け止めたいのかを見直し、対応を考えてもいいかもしれません。

### 3 これまでの対応を振り返る

どのような立場で対応すべきなのか、教室の方針・目標を配慮しつつ、これまでの対応を振り返ると同時に、これからの対応を考えてみてはいかががでしょうか。

(杜長俊)